

授業科目(ナンバリング)	ホスピタリティと SDGs (AA103)			担当教員	安部直樹・安東由喜雄・木村勝彦・ 滝知則・浦郷淳・相羽枝莉子・ 大町いづみ・中村尚生・ 小田和人・藤井俊輔・ 深澤昌史・石原知明		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・前期	必修・選択	必修
授 業 の ね ら い							アクティブ ラーニング の 類 型
本講義の前半では、本学でのあらゆる学びの基本となるホスピタリティの意味を理解し、実践的に体現していくことができるようになることをねらいとする。さらに後半では、そうしたホスピタリティの精神をもとに持続可能な社会を創造していくために、SDGs で掲げられている課題を自らの問題として捉え、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を考える。							④⑤⑥ ⑦⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	ホスピタリティの具体的なあり方と SDGs の各目標を自らの専攻分野に関連づけて説明することができる。				期末レポートの提出	25%	
情報収集、分析力	ホスピタリティの基本的な精神とその表現、SDGs の目指す持続可能な社会のあり方について情報を収集し、分析することができる。				manaba での振り返りと課題提出	15%	
コミュニケーション力	ホスピタリティの精神を社会生活の中で実践し円滑な人間関係を築き、SDGs が目指す持続可能な社会を実現するために、周囲の人達と積極的なコミュニケーションを図ることができる。				manaba での振り返りと課題提出	15%	
協働・課題解決力	ホスピタリティおよび SDGs に関して与えられた課題を自らのものとして捉え、解決を試みることができる。				期末レポートの提出	15%	
多様性理解力	各講義担当者の講話を傾聴するとともに、そのさまざまな意見を正確に理解した上で、提示された問題を主体的に考察する。				manaba での振り返りと課題提出	30%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
毎時間後に提出する manaba を活用した課題の記載状況を通して、授業への参加度や主体的な思考の実践度などを判断し、評価する。また、授業動画を視聴した上で manaba の課題を提出することによって授業への出席と判断する。ただ授業動画を視聴するのみ、あるいは視聴しないで課題を提出するのみでは出席と認めないので留意すること。							
授 業 の 概 要							
本講義は、理事長、学長をはじめとする本学教職員の講義により、テーマや内容に応じて本学の学びの核となる“ホスピタリティ”の精神と、持続可能な社会の実現を目指す SDGs の内容について多面的な理解を目指す。新型コロナウイルス感染症予防のために、本講義は遠隔教育とし、授業動画を一定期間視聴可能にする。必ず manaba にアクセスし、授業動画を視聴した上で課題に取組み、結果を提出すること。本授業の1コマ当たりの授業外学修時間は、180分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：特に指定しない 参考書：適宜指示する 指定図書：蟹江憲司「SDGs 持続可能な開発目標」中公新書							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時間割通りに授業動画を視聴し、学修すること。それができない場合は、公開期間中に視聴し、学修すること。</li> <li>・ 授業で分からないことが生じた場合は、チャット機能等を使って遠慮せずに質問すること（時間割所定の時限）。</li> <li>・ 録画の画像が乱れる場合には、大学の教務課に連絡をすること。（0956-39-2020）</li> <li>・ 授業での問いかけに対しては、自分のことと捉え、考える習慣を身につけること。</li> <li>・ 授業で学んだことを実践に移せるよう心掛けること。</li> </ul>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 4月 13日	「オリエンテーション」 (担当：滝教授及び担当教員)	本授業の意義、内容、方法の説明を受けるとともに、受講にあたっての約束事を理解する。そして、各学科の担当教員の紹介を受ける。さらに、授業後に課せられる「振り返りと課題」の記載方法や提出方法を理解する。	(予)：シラバスを読む。 (復) manaba の「振り返りと課題」に記入し、提出。
2 4月 20日	「ホスピタリティの起源と課題」 (担当：木村副学長)	世界史および日本史におけるホスピタリティの起源と変遷の講話を視聴し、ホスピタリティの歴史と現代の課題を理解する。	(予)(復)：manaba の「振り返りと課題」に記入し、提出。
3 4月 27日	「九州文化学園の歴史と未来」 (担当：安部理事長)	九州文化学園創立の経緯やその発展の歴史等に関する講話を視聴し、本学の理念である「人間尊重」や「ホスピタリティ」を認識し、自校愛の芽生えを図る。	(予)(復)：manaba の「振り返りと課題」に記入し、提出。
4 5月 11日	「国際化社会におけるホスピタリティの重要性」 (担当：国際交流・留学生支援室)	国際化社会におけるホスピタリティの意義についての講話を受ける。そして、多様な文化の中でのコミュニケーションのあり方を考察する。	(予)(復)：manaba の「振り返りと課題」に記入し、提出。
5 5月 18日	「キャリアとホスピタリティ①」 (担当：教員及び事務職員)	教員及び事務職員のキャリアに関する講話を受ける。そして、キャリアにおけるホスピタリティの役割を考察する。	(予)(復)：manaba の「振り返りと課題」に記入し、提出。
6 5月 25日	「キャリアとホスピタリティ②」 (担当：教員及び事務職員)	教員及び事務職員のキャリアに関する講話を受ける。そして、キャリアにおけるホスピタリティの役割を考察する。	(予)(復)：manaba の「振り返りと課題」に記入し、提出。
7 6月 1日	ホスピタリティ・ルーブリックの理解と自己認識 (担当：滝)	ホスピタリティ・ルーブリックに基づき、「ホスピタリティを構成する5つの能力」について理解し、自己の現状認識をした上で行動目標を設定する。	(予)(復)：manaba の「振り返りと課題」に記入し、提出。
8 6月 8日	イントロダクション (担当：安東学長)	SDGs の17の開発目標とそれが目指す持続可能な社会の理念に関する講話を視聴し、本学の理念である「人間尊重」や「ホスピタリティ」がそこにどのように関わって来るのかを考察する。	(予) SDGs について予習する。(復)：manaba の課題を提出する。
9 6月 15日	目標1, 2 (担当：浦郷、小田、藤井)	目標1. 貧困をなくそう 目標2. 飢餓をゼロに	(予) 目標1, 2について予習する。(復)：manaba の課題を提出する。
10 6月 22日	目標3 (担当：相羽、大町、石原)	目標3. すべての人に健康と福祉を	(予) 目標3について予習する。(復)：manaba の課題を提出する。
11 6月 29日	目標4, 5 (担当：浦郷、中村、相羽)	目標4. 質の高い教育をみんなに 目標5. ジェンダー平等を実現しよう	(予) 目標4, 5について予習する。(復)：manaba の課題を提出する。
12 7月 6日	目標6, 8 (担当：深澤、石原)	目標6. 安全な水とトイレを世界中に 目標8. 働きがいも経済成長も	(予) 目標6, 8について予習する。(復)：manaba の課題を提出する。
13 7月 13日	目標9, 12 (担当：小田、藤井、滝)	目標9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 目標12. つくる責任 つかう責任	(予) 目標9, 12について予習する。(復)：manaba の課題を提出する。
14 7月 20日	目標11, 14 (担当：大町、深澤)	目標11. 住み続けられるまちづくりを 目標14. 海の豊かさを守ろう	(予) 目標11, 14について予習する。(復)：manaba の課題を提出する。
15 7月 27日	目標10, 16 (担当：中村、滝)	目標10. 人や国の不平等をなくそう 目標16. 平和と公正をすべての人に SDGs 実現のためにはホスピタリティの精神が不可欠であることを理解する。	(予) 目標10, 16について予習する。(復)：ホスピタリティとSDGs の関わりについて意見をまとめ、manaba に提出する。